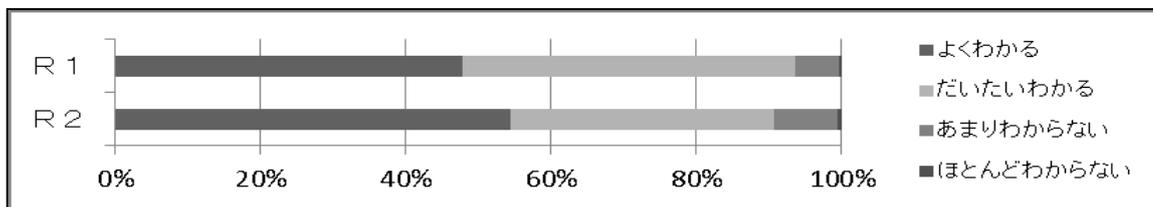


学校だより ～特別号～

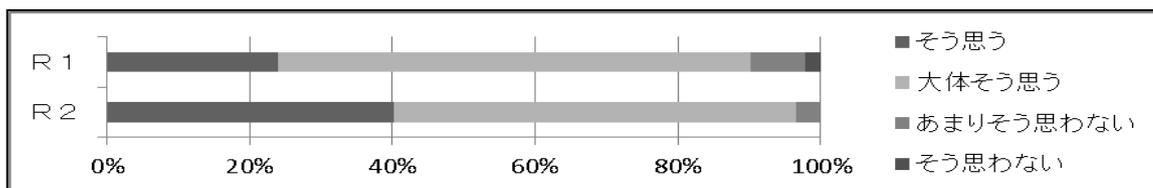
令和2年9月25日
京都市立池田東小学校
校長 辻 佳英

1. 授業の内容について

<児童>



<保護者>

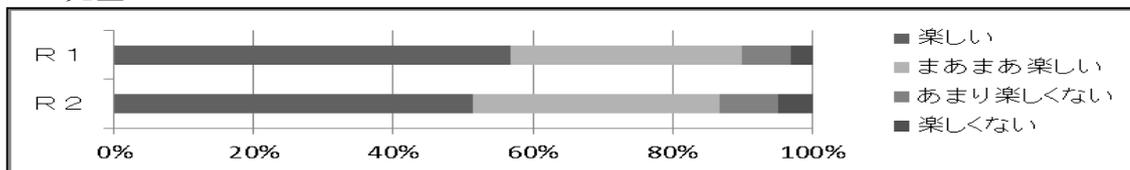


「よくわかる」「だいたいわかる」と回答している児童は90.7%と、昨年度の調査と比べて少し下がっています。ただ「よくわかる」と回答している児童の割合が約9%上がっています。また、保護者アンケートでは「学校の授業に満足しているか」どうかをお尋ねした結果については、「そう思う」「大体そう思う」が96.8%と、概ね満足していただいていると思われます。

子どもたちががわかったという実感や喜びを味わえる授業となるようにより工夫していきます。

2. 授業について

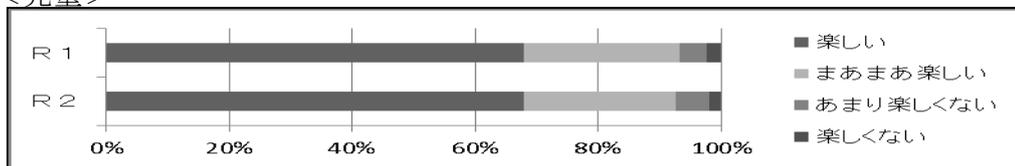
<児童>



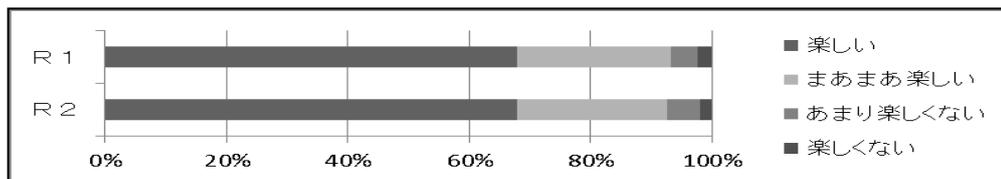
学校の授業について、「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童の割合は86.8%と概ね楽しいと回答しています。質問1の「授業の内容について」と関連していて、授業が楽しいと内容もよく理解できることがわかります。今後も、子どもたちが主体的に取り組めることを大事にし、楽しくてよくわかる授業を大事にしていきます。

3. 学校生活について

<児童>



<保護者>



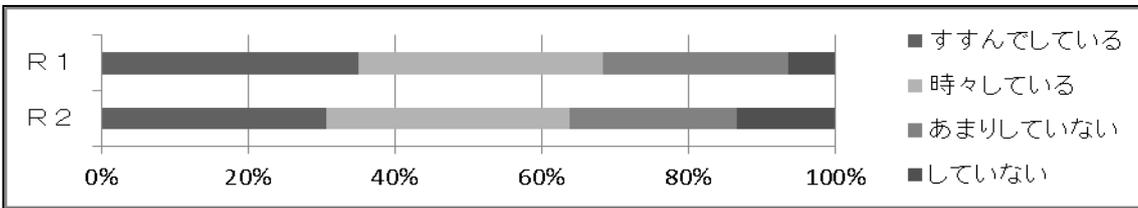
学校生活について、「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答している児童が92.6%、保護者アンケートの「お子たちは楽しく学校に通っているか」の質問に「そう思う」「大体そう思う」と回答された保護者の方が94.7%と概ね楽しく学校に通っているという結果が出ています。たくさんの児童が学校を

楽しいと感じてくれているのはうれしいことです。

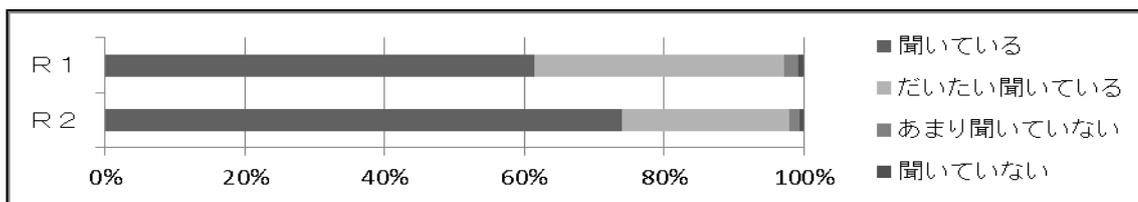
ただ「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童が7.4%見られます。児童の様子を丁寧に見守り、保護者の方と連携をとりながら、児童への働きかけをしていきます。

4. 発表・話の聞き方について

発表について<児童>



話の聞き方について<児童>

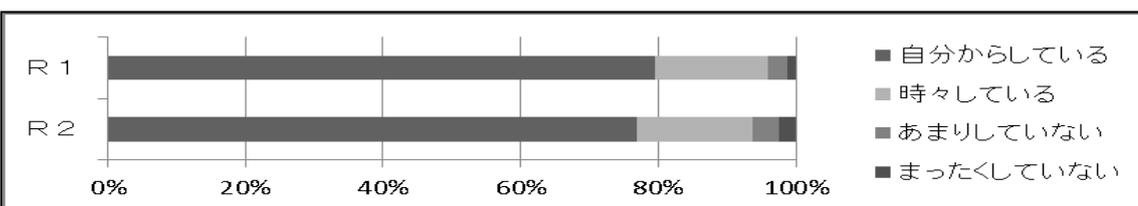


発表については、「すすんでしている」「時々している」と回答している児童が63.9%と、昨年度の調査と比べると同様に低い結果になっています。また、「あまりしていない」「していない」と回答している児童が36.2%います。話の聞き方について「聞いている」と回答している児童は、98%います。「学習に積極的に取り組んでいるか」という問いには、「できている」「だいたいできている」と回答している児童は92.1%でした。「話す」ことよりも、「聞く」ほうが「できている」と捉えている傾向は前年度の調査と同じ傾向です。

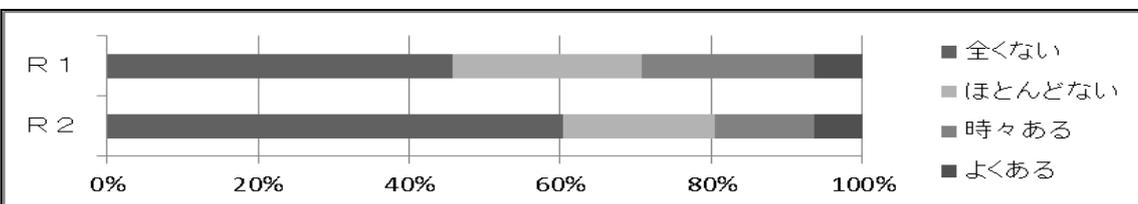
「聞く姿勢」を身に付けるだけでなく、自分のおもいや考えを伝える力をつけられるような機会を授業でも取り入れていきます。

5. 挨拶について

<児童>



<保護者>

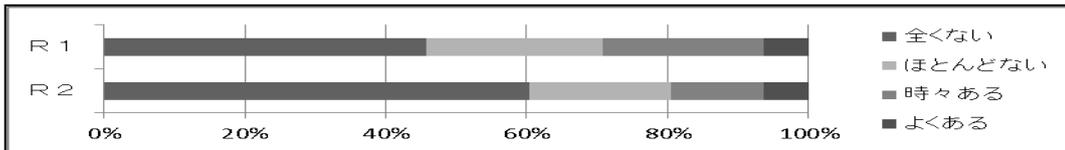


「自分からすすんで（挨拶を）している」と回答した児童は77.0%となっています。また、保護者アンケートの「挨拶などの態度がよい」の質問について、「そう思う」「大体そう思う」と回答されている方が87.3%という結果が出ています。これは昨年度と同じ傾向です。

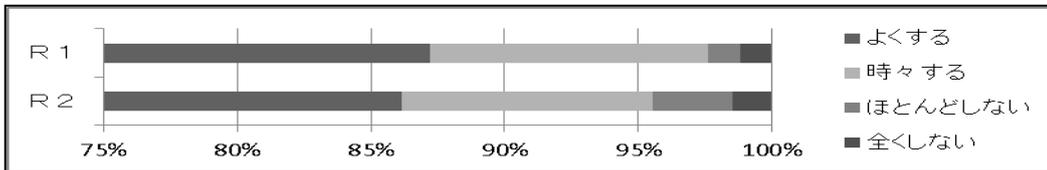
「あいさつ運動」のなかで児童会の子どもが、自分から挨拶をする姿を低学年の子どもたちにみせてくれています。挨拶をお互いにかわすことは、人間関係を築いていくことの第一歩です。これからも続けて、挨拶の大切さを指導していきます。

8. 対人関係

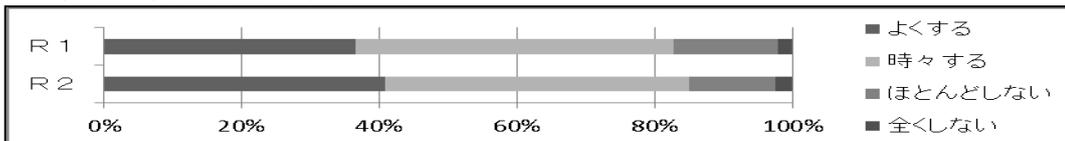
<児童>友達にいやなことを言われたりされたりする



<児童>友達と話をすること



<児童>先生と話をすること



友達からいやなことを言われたりされたりすることについては、「全くない」「ほとんどない」と回答している児童は80.4%でした。「時々ある」「よくある」と回答した児童が19.6%と、昨年度の調査に比べ少し少なくなっています。また、話をすることについては、友達と「よくする」「時々する」と回答した児童が95.5%でした。先生と「よくする」「時々する」と回答した児童は85.1%となっています。

子どもたちは、遊びを通してたくさんのことを学びます。時には、意見の違いからトラブルになることもあるかもしれません。友達の意見と自分の意見のどちらも大事にするためにはどうするのか、相手を思いやることとはどういうことなのかなど、遊びを通して学んでほしいです。

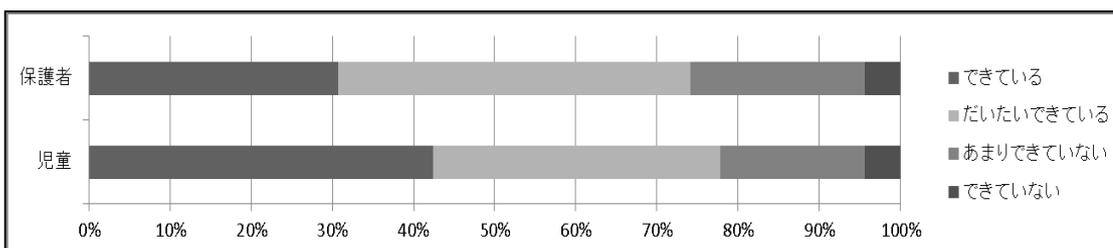
一人一人の児童をしっかりと見守り、「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を心がけていきます。

9 4校（栗陵中学校・池田小学校・醍醐西小学校・池田東小学校）共通のアンケート項目

栗陵中学校校区4校（栗陵中学校・池田小学校・醍醐西小学校・池田東小学校）では、「個性と能力を伸ばし、自らの将来展望を広げ、自らを切り拓く子ども」を目標に設定し、小中一貫教育の推進を図っています。「自ら進んで人・もの・ことに働きかけ、体験を通して課題を発見し、追求する子どもの育成」をサブテーマとし、情報交換・情報共有をしています。その中で今年度の学校アンケート項目に次の3観点を踏まえたものを取り入れることになりました。

- ① 基本的な生活習慣を身に付けた子ども（挨拶、早寝早起き、朝ごはん）
- ② 自ら主体的に学習できる子ども（学習習慣と学力向上）
- ③ 法や決まり等のルールを守れる子ども（規範意識の醸成）

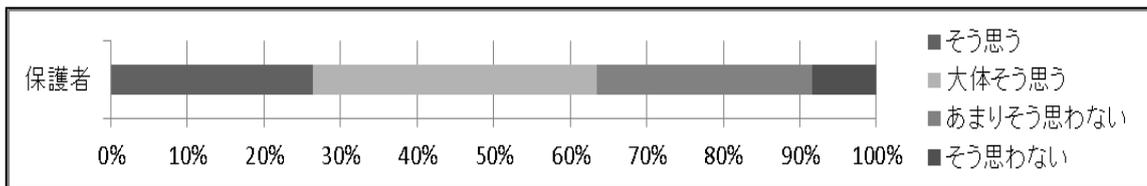
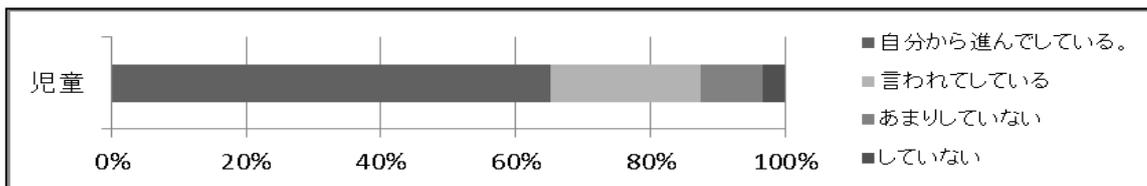
基本的な生活習慣 基本的な生活習慣を身に付けた子ども



児童の77.9%が「できている」「だいたいできている」と回答していました。保護者の結果は74.1%で児童と同じような割合でした。保健室から提案された「生活点検」でも同じ傾向が見られました。

早寝早起き、朝ごはんに気をつけることは規則正しい生活リズムを作るために大事なことです。ご家庭でもご協力をおねがいします。学校でも保健学習などで指導を続けていきます。

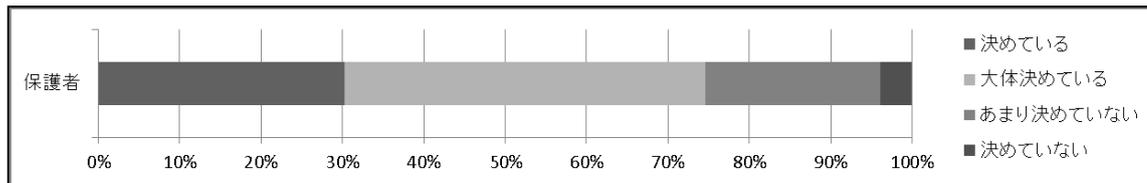
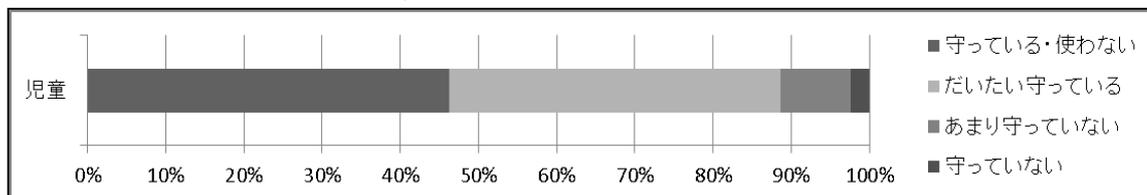
自主学習について 自ら主体的に学習できる子ども



自主学習を始めていない1年生をのぞく児童と保護者（2年生から6年生）にアンケートに回答してもらいました。65.2%の児童が「自分から進んでしている」と回答していました。他のアンケート項目に比べ、低い値になっています。自主学習を宿題として捉えている児童が多いためだと考えられます。「家で自主学習に取り組んでいますか」の設問に対して「そう思う」「大体そう思う」の保護者の回答は63.5%でした。

子どもたちが関心を持って取り組めるように自主学習コンテストを行ったり、学級だよりで交流したりしています。また、自主学習の取り組み方がわからない子どもたちにプリントを利用して指導したり、モデルとして上級生のノートを紹介したりしています。自主学習を自分からできるように、このような取り組みをつづけていきます。

ゲーム・スマートフォンなど情報機器の使い方 法や決まり等のルールを守る子ども



「ゲーム・スマートフォンのルールは守れていますか」の質問に対して、「守っている・使わない」「だいたい守っている」と回答したのは、88.7%でした。また、「ゲーム・スマートフォンなどを使うルールが決まっていますか」質問に対して、「決めている」「大体決めている」と回答された保護者の方は75.6%でした。

スマートフォン・タブレット等は情報を集めるのにとっても便利なものです。子どもたちの知的好奇心を満たす情報が得られることもあります。その反面、事件まで結びついてしまう面も残念ながら多々あります。ゲームでは、ネットを通じて課金できたり、あらゆる人とつながったりすることができます。だからこそ、友達とのトラブルが起きたり、事件・事故にまきこまれたりすることがあります。

情報モラル・ネットを利用するときの注意事項などを各学年にあった内容で、指導していきます。ぜひ、ご家庭でも機会があれば、情報モラルについて話し合ってください。